

# Kurilon Workshop News

クリロンワークショップ便り  
No.37 2020年8月

No.  
37



蔡國華：ハーバーブリッジ遠望（水彩）



---Information---

ふむふむ、10月で  
クリロン化成は60周年を  
迎えるのですね～



デザイン：加藤麻依子（画空間）

ユーザーの声をフィルムに表現する  
クリロン化成株式会社  
<https://www.kurilon.co.jp>

心が豊かであるために・・・  
KURILON Workshop  
<http://www.kurilon.co.jp/company/workshop/>

画空間 Art Space  
<http://www.a-kukan.com/>

Studio My空間  
<http://www.a-kukan.com/mykukan/>

◆ 勤続50年を迎えて

あつという間の50年、長いようで短いと感じます。高校を卒業した当時は、ものづくりに携わるとは考えておらず、当時はただ、必死に仕事をしようという想いだけがあったことを覚えています。元々、九州の佐賀出身で、いとこが岡山におり、誘われて入社しました。岡山工場で、61歳まで塩ビフィルムやポリエチレン、ポリプロピレンなどの原料を主としたフィルムを製造しておりました。今は社屋の改修や工場の補修なども含め、幅広く業務に携わっています。

◆ 勤続50年を迎えて

会社で働く人の力を最大限に引き出し発揮してもらうためには、社員の継続雇用と長期的な能力開発が必須です。

当社は、長きにわたり人材マネジメントに力を注ぎ、安心して生き生きと働ける環境や制度を徐々に整備してきました。その甲斐もあってか、現在は勤続20年や30年を超えるベテラン社員も多く在籍しています。

岡山製造課の成富さんは1970年に入社、2020年現在も当社を支える現役の従業員です。当社初の勤続50年表彰を記念し、ご紹介させていただきます。

人材部

永年  
勤続  
50  
年を  
迎えて



◆ 昔(50年前)と今を比べて感じること

当時は、どの作業も今のよう手順書がなく、体で覚えていくしかありませんでした。その中でも、塩ビフィルムの製造は特に難しく、ガラスの温度計を入れて温度を測りながら作業を行っていました。昔は、25kgもある原料を2、3人で運んでおり、すごく大変でした。今でも病気になることなく仕事ができているのは、体力がついたおかげかもしれません。

今は工場もきれいななり、設備も整いました。生産性も昔と比べるとはるかによくなっていますが、次々に新しい課題が生まれるのがクリロンらしいと思います。

◆ 今後のクリロン化成に思う事や自身の目標

これからも独創的な新しい製品をどんどん開発し、会社は成長していくと思います。私自身は、溶接などの技能を後輩にしっかりと引き継いでいかなければいけないと思っています。

父から子への  
経営学 価値と協働



「父から子への経営学 価値と協働」 栗原 清一  
価格：2,000円(税別)  
サイズ：A5版  
発行：クリロンワークショップ出版  
表紙は藤原氏による描き下ろしです

2020年4月、社長の栗原清一による『父から子への経営学「価値と協働」』が、クリロンワークショップ出版から上梓されました。

本書のタイトルについて栗原は、前書きで、「父から子への」とは象徴的な意味である。父とは私や私の父だが、子とはこれからの企業の担い手だと解して欲しい」と述べています。つづいて「本書の核心をなすものの見方、考え方は「価値」であり「協働」である。……価値と協働を中核において、人間が働く場としての企業を考察する」と副題にふれ、内容と論点を示しています。

そこからも分かるように、本書は、クリロン化成が、標榜してきた、「価値創生企業」の根幹をなす「価値と協働」を、原点に返って問い直すとともに、その基本的な価値観に立ち、人を育て、組織やルールを整え、組織文化をいかに培ってきたかを、クリロンの歩みに沿って、実際の経営活動や制度をまじえながら語ることと、「生きた経営学」を伝える一冊となっています。

もちろん、経営者だけでなく、「価値創生企業」においては、社員の自律的な成長は欠かせません。本書では、成長を促す給与と昇進システム・資格制度の工夫や仕組みが具体的に紹介されています。私たち社員も改めて「価値と協働」に向き合い、職務を通して成長していきたいと思いました。



東京・大崎のMY空間は、2020年の七夕の日に3周年を迎えました。今年も子どもたちは、色とりどりの短冊に思い思いの願いごとを書き、笹の葉につるしました。

『子どもと未来』がテーマの中で、「ミモザまつり」や「ハロウィンパーティー」などの季節のイベントはすっかり恒例となりました。

特にこの1年では、メンバーで月に2回ほどのミーティングを重ね、様々なイベントを企画しました。

子ども向けの美術教室「わくわくアートリエ」は、絵画と造形の2つのクラスを作り、それぞれ教室を開きました。子どもや親子向けには「おりがみの会」を月に1度のペースで行っています。

その他、大人向けの「生木のクリスマスリース作り」や親子向けの「アクセサリー作り」などワークショップを開催し、大変好評いただきました。

また被災地支援の一環として、九州のお野菜の販売も定期的に行っています。新鮮なお野菜をはじめ、フルーツ、お味噌などが届くので喜ばれています。

他にもMY空間は、KWS出版の書籍の制作や展示会への協働、クリロン化成の他の部署の社員とのミーティングの場としても幅広く活用されています。

MY空間が、子どもたちにとって、また地域の方々にとっても「楽しくほっとできる空間」であるように、これからもKWSメンバーで試行錯誤しながら歩んでいきたいと思っています。

MY空間 加藤麻依子



漢字の絵本3が出版されました

身近な易しい漢字を成り立ちから学んでいく、この下村式漢字のシリーズも3巻目となりました。今回は「手や足からできた漢字編」です。

手や足という漢字は、広げた手のひらや足全体の形など、そのものから字ができています。また、私たちの生活と深い関係にある手と足は多くの漢字の元ともなりました。

この本で紹介しているものには、友や書、反という漢字も登場します。どの部分の手や足の形と関係しているのか、不思議になりませんか？

このシリーズのキャラクターかんたんくんとはちゃんも日常の中で様々なことを経験しながら漢字を学んで



「下村式 なりたシリーズ『となえて楽しむ漢字の絵本3 手や足からできた漢字編』 下村 昇  
価格：1,000円(税別)  
サイズ：B5判  
発行：クリロンワークショップ出版

いきます。今回は遊びのページも増えました。ぜひ新しい発見や学びを、お子様と一緒に楽しんでいただけたら嬉しいです。

MY空間 小西由夏



クリロンワークショップ出版  
ホームページ開設について  
<http://www.book.kurilon-ws.com/>



2020年7月1日、「クリロンワークショップ出版ホームページ」が一般公開されました。同日発行された、『漢字の絵本3』と合わせた展開で、記念すべき日となりました。

クリロンワークショップ出版はご縁のあるアーティストや先生方の書籍を昨年より出版しています。ホームページでは出版された書籍を紹介し、オンラインにて販売しています。また、メンバーが描いたロゴやイラストが優しい印象で見る人をほっこりさせています。

ホームページの情報はフェイスブックやインスタグラムでも見ることが出来ます。これらSNSで情報共有をして、広く皆様へ配信してゆきます。

是非一度、このサイトを訪れてみてください。

画空間 小路純子